

クライミングジム利用規約書

●クライミングは、危険が伴うスポーツです●

当ジムをご利用前に必ず「確認書」と「ジム利用規約書」を熟読し誓約書に署名をして下さい。

登録カードはご利用の都度受付にて提示してください。

どのようなスポーツでも、そのスポーツの本質的な危険が存在します。クライミングも例外ではありません。場合によっては、死亡事故を含む重大な事故やケガをするケースもあります。そのような危険性を十分に理解して楽しくクライミングを行ってください。

●施設利用注意事項●

ジム内では、常に頭上を注意して下さい、特に180°のルーフ部は天井が低いのでご注意ください。

壁に、「ホールド」と呼ばれる手掛かり足掛かりになるプラスチック製の石(ホールド)が、ボルトで取り付けられています。その性質上、まれに突然回転したりホールドが割れて落下する可能性があります。また登っている人の持ち物が落ちてくる場合もありますので、常に、頭上を注意して必ず登っている人の下には入らないようにして下さい。

●ボルダリングに関する注意事項●

- ・ボルダリングエリアには、安全確保の為に厚みのあるマットが敷いてありますが、落ちた時の体勢の取り方を一つ間違えればケガ(特に、足首の捻挫、骨折等)は起こります。また、マットと壁との間に隙間があり、そこに落ちた場合や、マットを飛び越えるような落下をした場合、衝撃が吸収されません。このように、完全に安全確保ができていないということではないことを認識して当ジムをご利用下さい。
- ・エリア内のすべての人が、周囲の状況に常に気を配っていなければ、単独ではなく他者を巻き込んだ事故(他人との接触等)も起こります。自分自身の行動によって自身がケガのないよう、他者をケガさせないよう、そして他者の行動によって自身がケガを被ることはないように注意し、各自が自己責任において身の安全を確保するように努めましょう。
- ・マットの上には必ず座らないで下さい。
高い課題を登る時(トッパアウトする課題等)にはスポット(補助)をスタッフに頼むか、周りの利用客にお声を掛けてから課題に取り付けて下さい。
- ・登らない時は、マットの外か、立って待機し、登っている人の後ろや、下に入らないで下さい。
- ・壁の上方から飛び降りないようにして下さい。
ケガのことを考え、なるべく大きな手掛かり(ホールド)をつたい、壁を降りる事をお勧めします。
- ・マットへ降りる際は着地位置の安全を確認し、膝のクッションを使って両足で着地して下さい。
背中や胸から着地すると危険です。着地姿勢が悪いと、骨折、捻挫、脱臼等が起こりえますのでご注意ください。
- ・クライミングウォールは、木製で出来ていますので、壁最上部等のヘリ部分やハリボテに、トゲや釘がある所もありますのでご了承下さい。135°、160°壁のリップ部分以外は掴まないで下さい。
- ・他の人と近い場所で登る場合には、先に登る人のルートに注意し衝突事故等のないよう、壁の状況を把握し順番に登る等、コミュニケーションを取りながら登って下さい。
- ・万が一会員カードを無くされた方はカード代100円が必要になります。
- ・妊娠中の方は登るのは禁止しております。持病(てんかん等の症状が解りづらい方)を持たれている方は薬をちゃんと飲んで、無理せず過度な運動は避けて下さい。

●施設/ロッカーに関する利用規約●

- ・ロジン(松やに)入りチョークの仕様は当施設では使用不可ですのでご了承下さい。
- ・個人ロッカーは必ず4ヶタ全ての番号を変えてから施錠して下さい。
- ・利用者が収容した物が原因で、他の利用者が収容している物品が破損又は汚損した場合、その原因となった場合は原因になった利用者の負担により賠償して頂きます。
- ・利用者が持ち込みになられた物(貴重品を含む)等の盗難・破損事故及び人身事故についてはその原因の如何を問わず当ジムは一切の責任を負いません。
- ・建造物・設備・什器・貸出備品等を毀損・紛失された場合、その損害に対し全額賠償請求します。
- ・利用規約の内容は、予告なく変更することがあります。

